

東海支部だより

全国厚板シェアリング工業組合 東海支部

2009年度支部総会及び第25回模範従業員表彰式を開催

東海支部の2009年度総会を4月16日木曜日15時より名古屋駅前のホテル キャッスル
プラザ4階「菊の間」に於いて開催した。

総会は、支部組員27社29名と業界新聞社4社4名・事務局2名を含め総勢35名の
出席で執り行われた。

司会(事務局)の開会及び総会成立宣言の後、川口支部長(三和鐵鋼社長)の挨拶が行われた。
川口支部長挨拶(新聞記事抜粋(日本金属 4/17))

『昨年状況をジェットコースターに例える人がいたが、まさに価格、需要ともに大きな
変動の年だった。好業績で締めくくった後は重い在庫負担、販売量の減少、含み損を抱
えながら厳しい状況でこの総会を迎えることになってしまった。だが景況は一部ではある
が底を打つところも出てきている。きっと期待感をもって下期を迎えられるのではないだ
ろうか。来年の総会もみんな顔を揃えて会えるよう、一年頑張っていこう』。

引続き、支部規則(第9条)により、川口支部長が議長となり議案審議に入った。

第1号議案 2008年度事業報告、**第2号議案** 2008年度会計・監査報告、並びに決算の承
認、**第3号議案** 東海青年会2008年度事業計画、それぞれ報告し承認された。

第4号議案 支部長並びに市場部会長の交代について、支部長より新支部長候補推薦の経緯
と市場部会長の交代について報告し、全員賛成で原案どおり承認された。

支部長

三和鐵鋼株式会社 取締役社長 川口克彦 三和鐵鋼株式会社 顧問 林 光雄

市場部会長

JFE 鋼材株式会社 取締役所長 吉住 淨 中部鋼板株式会社 鋼板加工部長 加藤一修

川口支部長より新支部長紹介後、議長交代のため降壇、新林支部長が就任挨拶に続き、議
長となり、議案審議に入った。

第5号議案 2009年度事業計画案、**第6号議案** 2009年度予算について、事務局・会計より
それぞれ説明し、原案どおり承認された。

第7号議案では、鋼材品質証明検討委員会報告を、東海鋼材工業の高田取締役が行なった。
議案審議が終了し、川口前支部長に退任の記念品を贈呈、川口前支部長が退任の挨拶を行
なった。

その他 事務局より連絡事項を案内し、議長より無事総会が終了した事に対するお礼を述べ
総会は終了した。

続いて16時30分 会場を「梓の間」に移り、本部より高木理事長をお招きし模範従業員の
表彰を行なった。

林新支部長の挨拶に続き、高木理事長より『東海支部も支部長交代で時代の区切りが来た。各地域を訪問して一番よく話題になるのは先行きをどう見ていけばいいのか、ということ。いまが底であることは確かだ、これからは過渡期に入る。いたずらにマーケットを混乱させる行動は慎みたい』と挨拶された。

また、表彰式に参加された各社の優秀な方達を賞賛されると同時に現在までに身に付けられた優秀な技術を社の中に引き継いでほしい。そして、シャーリング業界のポテンシャルを是非皆さんの力で引き上げてほしい。との祝辞を贈った。

表彰者は予め、各組合員より推薦を受けた以下の方々が表彰された。

永年勤続し、誠実にその職場に尽くされた功績により	19名
特に優秀な成績により、会社に貢献された功績により	8名
技能に優れ、有益な改良工夫をされた功績により	2名

計 29名(5名欠席)

表彰後、受賞者を代表として鬼頭鋼材(株)川添健治氏の謝辞があり表彰式を終了した。

続いて記念写真を撮影。場所を『孔雀の間』に移動、山村副支部長(熱金鋼業(株)社長)の音頭で乾杯し記念パーティに入った。

パーティは、立食方式で開始早々会社代表者も、コンパニオンのお酌にひととき厳しい現状下を忘れたかの様に、笑顔で会話に華が咲き 又、受賞者も式典の緊張から解放され、式典と違った穏やかな表情で、他社の受賞者と業務内容の情報等を交換して楽しんでいる様子だった。

中締めは、佐野副支部長(丸八鋼材(株)社長)の音頭で、三本一回締めを行い懇親会の宴を閉じた。

以上
(事務局 堀場 記)